

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【公開番号】特開2007-226942(P2007-226942A)
 【公開日】平成19年9月6日 (2007.9.6)
 【年通号数】公開・登録公報2007-034
 【出願番号】特願2007-8412(P2007-8412)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/18 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/18 5 0 1 B
 G 1 1 B 20/18 5 7 2 B
 G 1 1 B 20/18 5 7 2 F
 G 1 1 B 20/18 5 2 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成22年1月12日 (2010.1.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ハードディスクを制御するハードディスクコントローラ (H D C) モジュールと、
 読出しバス及び書込みバスを介して前記 H D C モジュールと通信すると共に、前記書込みバスを前記読出しバスに選択的にループバックするループバック回路を有し、前記 H D C モジュールが前記書込みバスにデータを書き込むための書込みクロックを生成し、前記 H D C モジュールが前記読出しバスの前記データを読み出すための読出しクロックを生成する読出しチャネル (R C) デバイスと、を備え、

前記書込みクロックは、前記読出しクロックから独立しているシステム。

【請求項 2】

前記 R C デバイスは、前記ループバック回路を起動させる制御モジュールを有する請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

前記 R C デバイスは、固定 R C タイムベースに基づいて前記書込みクロックを生成する請求項 1 記載のシステム。

【請求項 4】

前記 R C デバイスは、回復チャネルクロックに基づいて前記書込みクロックを生成する請求項 1 記載のシステム。

【請求項 5】

前記 R C デバイスは、固定 R C タイムベース及び回復チャネルクロックの一方を分割することによって、前記書込みクロックを生成する書込みクロックジェネレータモジュールを備える請求項 1 記載のシステム。

【請求項 6】

前記 R C デバイスは、前記書込みクロックジェネレータモジュールのストレッチング及びリフェイズの機能を実行不可能にするクロック制御モジュールを備える請求項 5 記載のシステム。

【請求項 7】

前記 R C デバイスは、前記書込みクロックを生成するために前記固定 R C タイムベース及び前記回復チャネルクロックの一方を前記書込みクロックジェネレータモジュールが選択した後に、前記固定 R C タイムベース及び前記回復チャネルクロックの間のスイッチを実行不可能にするクロック制御モジュールを備える請求項 5 記載のシステム。

【請求項 8】

前記 H D C モジュールは第 1 のダイ上に組み立てられ、前記 R C デバイスは第 2 のダイ上に組み立てられている請求項 1 記載のシステム。

【請求項 9】

前記 H D C モジュール及び前記 R C デバイスは、共通のダイ上に組み立てられている請求項 1 記載のシステム。